

様式⑦-1 小学校・中学校

中学校区におけるめざす子ども像
人から信頼され、何事も徹底してやりぬくたくましい子

堺市立福泉東小学校
校長 丹後 靖史

令和7年度 学校教育目標『多様性を認め合い、自分で考え、判断し、決定し、行動できる子どもの育成』～自律と対話～
みんなちがっていい(多様性)自分で決める(自律)違いを対話で分かり合う(対話)

確かな学びの現状

本校では、「積極的に学習に向かう力」や「粘り強く取組む力」など、『学び続けることができる児童』の育成をめざし、さまざまな取組を行ってきた。成果としてノートに自分の考えやふりかえりを書かせたり、本校独自の漢字検定や計算検定に粘り強く取り組んだりすることにより、「分かったい」という学びに向かう姿勢が見られた。一方、既習事項をどのように生かせばよいのか分からなかったり既習事項が定着していなかったりする児童においては「自分で考える」「粘り強さ」などが減少している。みんなが「分かる」学習指導の追求をし、基礎学力の定着を図り、『学ぶ姿勢』の育成が必要である。

豊かな心・健やかな体の現状

・全学年でのたてわり活動とおして、仲間づくりを行ってきた。異学年交流を行う中で、上級生が下級生にやさしく接する姿が見られるなど、児童のつながりが深まっている。児童アンケートの結果から「違う学年の子と協力して活動している」では肯定評価94%であった。また、「自分のよいところや得意なところを知っている。」が84%、「自分でやるときめたことは最後までがんばるようにしている」が89%で肯定的な回答をする児童が多い。
・様々な体育の行事を通して、運動習慣を身につけさせ、体力向上の取り組みを行っている。また、朝ご飯を毎朝食べていない児童が約34%、1日に2回歯みがきをしていない児童は約23%で課題が見られる。また寝る時間が遅い(22時以降)の児童は約32%である。食育指導、眠育指導をとおして改善していきたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認		達成状況(年度末)	
									自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学力向上	『よく考える子』の育成をめざし、学ぶ姿勢と基礎学力を高める。	●すべての教育活動を通して、『学ぶ姿勢』(「学んだことを生かす」「主体性」)を育む。	・【学調】「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」【学ア】「問題の解決に向けて色々な方法を自分で工夫し考えながら取り組んでいる」で肯定評価90%以上	学校アンケート	年度末				
			●学校独自の「漢字検定」、「計算検定」を実施し、事前事後の指導を行う。	・漢字検定の合格率90%以上 ・計算検定の合格率80%以上	自作テスト 学校アンケート	年度末				
			●読書に親しむ態度を育てる。 朝の読書タイムを充実させたり、読書月間を設けたりする。積極的に学校図書館を活用したり学校図書館以外の場所でも書籍に気軽に触れられる工夫をして、読書への意欲向上を図る。	「学校や家庭で進んで読書に取り組んでいる」で肯定評価70%以上 ・1人当たり貸出冊数55冊以上	学校アンケート 学校図書館の貸出冊数	年度末				
	授業改善	事前検討重視型校内研修を進め、全教員の授業力を高める。	●各教科の学習において『学ぶ姿勢』(「自分で考える」「学習を生かす」「粘り強さ」「まねる」)に重点を置き、『全員がわかる』授業づくりと評価を行う。	・『「全員が分かる」を意識した授業づくりをしている」で肯定評価80%以上	教職員アンケート	年度末				
			●外国語科の授業力向上をめざし、3～6学年の4年間を見通した指導と評価について研修を進め、共通理解を図る。	・「外国語の授業や評価について研修を深めることができた」で肯定評価95%以上	教職員アンケート	年度末				
			●児童にパソコンの技能を習得させ、情報活用能力を高めるために、ICTチェックリストに基づいて教職員のICT活用を推進する。	・「タブレットを使って、学習を進めている。(発表ノートやドリルパークなどのアプリを使う、まとめや発表をするときに調べ学習をする、動画を見る、写真撮るなど)」で肯定評価80%以上	学校アンケート(児童用)	年度末				
豊かな心・健やかな体	心豊かな子	人権尊重を基盤とした教育活動を充実させ、豊かな人間性を育成する。	●学校行事や学級活動を充実させ、自他の良さを認め合い自尊感情を高められる取り組みを行う。	・「たてわり活動では、違う学年の子と協力して活動している」「自分のとくいなことをしている」で肯定評価90%以上	学校アンケート	年度末				
			●道徳科において「いじめ問題に関わる教材」を重点的に指導するとともに、教職員での研修を行い、いじめ問題に対する啓発を行う。	・「いじめは絶対してはいけないものだ」と知っている」肯定意見100%	学校アンケート	年度末				
	強い子	規則正しい生活を送り、運動に親しむ環境を整え、体力を向上させ、運動することへの意欲を高める。	●なわとび検定を行う。	・各学年の目標級を達成する。 1年80% 2年80% 3年70% 4年60% 5年50% 6年40%	学校アンケート	年度末				
			●規則正しい生活習慣を身につけさせるため、児童や家庭の実態を把握し、食育や保健教育を行う。	・食育や眠育、はみがきの重要性について、理解が深まったという肯定評価80%以上	生活アンケート	年度末				
	小中連携	学校間連携	福泉中学校区の『めざす子ども像』の実現に向け、4校で共通理解を図りながら課題解決にせまる。	★小中一貫教育担当や研修主任、生徒指導主任が中心となって、中学校区の共通課題を見出し、一貫した学習指導や生徒指導をめざす。	・「学校間で参観に行く機会を増やす」肯定評価75%以上。	教職員アンケート	年度末			
	校長より(年度末)								学校関係者評価者から(年度末)	